

令和5年度第1回代表幹事会議事録

【日 時】 令和5年(2023年)7月30日(日) 14:00 ~ 17:00

【場 所】 ルノアール新宿3丁目ピックスビル店 5号室

【出席者】 役員：三澤幹事長兼副会長、小松副会長、衣袋副会長、百瀬副会長

代表幹事：森本総会指導委員長、戸田広報委員長、脇川財政委員長、濱田 HP 管理委員長、
横川渉外副委員長、松澤事務局長、佐藤事務局次長、小岩井第56回実行委員長、小林監事

【欠席者】 久保田会長、山岸副会長、太田副会長、仁科渉外委員長、松沢代表幹事、清水会計委員長、
二木6年委員会委員長

計 13 名参加

(抜粋)

(1) 会則・運用細則検討の件

① 百瀬総務委員長が資料に基づき説明後に審議に入る

② 審議内容

- ・ 若手開拓に向けた2つの方向性には賛同する
- ・ 勝手連的な集まりの企画については、スピード感を持って進めたい。
- ・ 多様性・ダイバーシティを大事にしたい。
- ・ 今回の東京同窓会の参加者約200名中、50回生以降の世代は17名が参加した。
これら若い人に任せられるようにしていきたい。
- ・ 例えば、卒業後30年経ったら、同期会費2万円を支援するというのはどうか。
- ・ 生徒(現役)の内からから刷り込んでいく必要がある。
- ・ 若手が集まる仕組み作りが必要。
- ・ 世代によって、PINポイントで求めるものがある。
- ・ 東京同窓会の後で行う二次会を、会費の支援をするからやってくれというのはいかがでしょうか。
- ・ 学生の参加者は、就職活動の目線で考えている。
- ・ 今回、美ヶ原登山を行ったが、学校との協力も必要。徳永校長は、動きが早い。
(美ヶ原登山：45人中17人が現役の生徒)
- ・ 会報を送るなど、東京同窓会をアピールする必要がある。
- ・ 実行委員の住所登録もスタートの一つ。
- ・ 東京同窓会のLINEグループ(LINE worksもある)を作ったらどうか、など
- ・ 嶋田委員のように勝手連的な活動に積極的な委員もいるので、彼に任せる方法も取り入れると良い。
- ・ これらの活動の窓口は「6年委員会」が良いのではないか。
- ・ 今回は、時間切れで十分な議論が出来ずに終わったが、次回は、これらの問題を解決していくための組織について考える。各委員会は、それぞれの活動(総会指導委員会、渉外委員会、縣陵レディース、6年委員会)を整理し、各委員会で、現行の会則・運営細則を確認して、今まで議論してきた活動をしていくために必要な具体的変更点があるか確認する。変更点について、次の代表幹事会で議論する。